

学園だより

発行 学校法人
 ノートルダム清心学園
 清心中学校
 清心女子高等学校
 倉敷市二子1200
 ☎701-0195
 TEL(086)462-1661
 FAX(086)463-0223
 URL <http://www.nd-seishin.ac.jp>

編集 広報部



二子の丘の母校清心

この三年間あるいは六年間、この

不平不満を口にする私にある神父様が一つの詩をくださったのです。「神様がお植えになったところで咲きなさい。咲くということとは仕方がないとあきらめるのではなく、笑顔で生き、周囲の人々も幸せにすることなのです」
 (置かれた場所で咲きなさい) 幻冬舎

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
 ノートルダム清心学園の理事長であったシスター渡辺和子は私たちに多くの励ましのことばを残して下さいました。なかでも有名なものは「置かれた場所で咲きなさい」ということばでしょう。ご著書の中にこのように書いていらつしやいます。



校長 Sr. 三宅 聖子



祈りを捧げた聖堂

場所、ノートルダム清心学園で咲くうとしていたでしょうか。こんな場所だからと諦めがちだったでしょうか。

「置かれた場所で咲く」とは、私たちに真にポジティブな生き方を薦める呼びかけのことばです。聖ジュリアンが、置かれた厳しい状況の中でも発した「神さまは善い方」ということばも同じように環境や状況に流されない、信頼と勇気ある前向きな生き方を私たちに示し、励ましています。

もう一つ現代に生きる私たちに大切な呼びかけがあります。「置かれた場所」をグローバルに、また共同体的に捉えることです。地球環境の破壊が進み持続が危ぶまれ、災害や病、差別や偏見、孤立や排除、貧困や暴



Sr. 渡邊理事長の著書

力に脅かされ苦しむ人がいます。これらの隣人たちは同時代、同じ場所に咲くべく置かれています。「置かれた場所で咲く」とは、広い視野を持ち、この地球、この時代を「置かれた場所」として隣人と共に生きるようにとの呼びかけでもあるのです。
 これから皆さんが夢を抱いて出てゆく場所は必ずしも望むようなものではないかもしれませんが、それでも皆さんは、そこに自分という花を咲かせることができるのです。それだけでなく、そこに周囲を幸せにするという期待を持って置かれるのです。皆さんはそのために清心で学び、体験し、絆を結びました。迷うとき、答えはなくとも答えのヒントはきっと持っています。自信と誇りを持って旅立ちましょう。

卒業生に贈る言葉



中学生徒会長 木口 佳南

寒さも少し緩んだ季節となりました。義務教育修了おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。いつも先輩方は私たちのお手本となり、この清心中学校を盛り上げて下さいました。先輩方が様々な所で活躍されている姿を見てみると、本当にたくさんの方を感じ、学ぶことができました。次は私たちが上級生となり、先輩方が築き上げられたこの学校の伝統を受け継いでいこうと思えます。シスター渡辺和子先生のお言葉「置かれた場所で咲きなさい」のように、先輩方が様々な所で花開けるよう、心からお祈り申し上げます。



高校生徒会長 霜山 菜都乃

この旅立ちの春、卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。今まで行事や部活動など様々な場面で学校を盛り上げてくださったことが次々に思い浮かびます。学校内外での活躍は私たちの目標となり、良い刺激を与えてくださいました。先輩方との別れがこんなに早く訪れるとは寂しくてたまりません。これからは私たちが先輩方からの教えを引き継ぎ、清心学園の伝統を守ってまいります。また、先輩方の母校として誇れる学園であるよう邁進していきます。卒業後もご活躍されることをお祈り申し上げます。



卒業に寄せて

高3生徒 保護者

大西 亨

春の訪れを感じる今日この頃、娘達が二子の丘を巣立つ日がやって参りました。婦天なされた理事長様にも、今日のこの日を、きつと喜んで頂けていることと思います。

高校生活での3年間、授業や部活動で学んだこと、休み時間や登下校時の友との何気ない語らい、校外活動での様々な経験、全てが大切な思い出です。笑顔であふれかえる時もあれば、思い悩み苦しみ、涙したこともあったでしょう。それから全てが彼女達の成長の糧となり、大切な宝物になったことと思います。

最後にになりましたが、お世話になった先生方、学園に関係する全ての方々に、心より感謝申し上げます。そして、清心学園の益々のご発展をお祈りさせて頂き、御礼の言葉とさせて頂きます。

高3学年主任

藤原 弘暁

高校3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。マリア様のお導きによって始まった二子の丘での学校生活は、6年間(3年間)という月日を数えました。まだ無邪気で初々しかった入学当時と比べて、あなたたちは本当にたくましく、立派に成長しました。その成長を大変嬉しく感じながら、まだ伝えきることができていない思いや言葉を焦って探しているうちに、旅立ちの時がやってきました。別れは辛くもありますが、門出を心から祝いたいと思います。

これから先の人生でも、その無邪気さや純真さ、そして優しさを十分に発揮してください。そうすることで今後多くの人に愛され、守られながら生きていくことでしょう。その一方で、人に迷惑を

世界は近年、益々スピードを上げ変化していき、多様な価値観が交錯する時代となりました。これからの様々な問題が彼女達の前に現れるかもしれません。しかし、どんな時でも、清心学園の教えである「心を清くし愛の人であれ」この言葉を忘れずに、問題を適切確実に解決し、彼女達がまさしく「置かれた場所で咲く」ことができる素敵な女性になってくれることを信じています。

かけてしまったり、傷つけてしまったりすることももあるかも知れません。また辛い思いをしたり悲しい気持ちになったりすることもあるでしょう。もし苦境に立たされたことがあった時には本校の校訓と、カトリックの教えや理事長様のお言葉を思い出してみて下さい。清心学園で学んだ様々な経験が、人間としての土台となり今後のあなたたちを支えてくれるものであると信じています。

あなたたちと過ごした時間はとても素晴らしいものでした。素敵な思い出があります。

保護者の皆様におかれましては、これまでに賜りました多大なるご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸、そして何よりお嬢様方のご活躍と輝かしい未来をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。



中3：記念館前芝生での集合写真



高3：高校中庭芝生での集合写真

中3生徒 保護者

田村 清子

清心の丘に、鶯の美しい歌声が聞かれるようになりました。真新しい制服に身を包み、丘に建つ十字架をめざして坂を駆け上がるようになって、もう三年が経つんですね。義務教育修了、おめでとございます。

入学してからたくさんの方の行事がありました。はじける笑顔と家で見せたことのない真剣なまなざしに、毎回、自分の知らない娘の一面を見たものです。

この間、彼女たちは、心も体も大きく変化しました。それは時に、私たちが親を戸惑わせ、彼女たちを翻弄することもあります。

中3学年主任

隅田 由香

中学三年生のみなさん義務教育修了おめでとうございます。この三年間でみなさんは心も体も大きく成長されました。楽しかったこと、苦しかったこと、失敗したこと色々なことがあったと思います。

何もかも初めてで戸惑いながらも元気に仲良く頑張った中学一年生。二年生では林間学校や英会話合宿で寝食を共にし、友情を深めながら日々たくましくなっていました。三年間の集大成のオーストラリア研修ではかけがえない体験をしたことと思います。みなさんが勉強に部活動に行事に一生懸命取り組んでいる姿をずっとそばで見ることができたことを幸せに思います。

ともあったでしょう。しかしそれは、変化ではなく「成長」でした。「心を清くし、愛の人であれ」という校訓を胸に、一個の人間として自立しようとする一人ひとりが日々葛藤してきたのではないかと思います。

その姿を、あの丘に建つ十字架が、聖母マリア様が、常に温かく包み、見守ってくださっていました。その安心感に親自身がどれだけ救われたことでしょうか。

学校を、先生を信頼し、すべてをゆだねる親の覚悟を丸ごと受け止めてくださり、優しく、時に厳しく娘たちを指導して下さった清心学園の先生方に、心より御礼申し上げます。

高校生活でも一日一日を大切に、目の前にあることにじっくり取り組んで下さい。失敗を恐れず多くのことに挑戦して下さい。そして自分だけでなくまわりの人のことも思いやって全員にとって居心地のよい学年をつくって行って下さい。私たちはこれからもずっとみなさんを応援しています。

最後にもう一度このことばを贈ります。

Enter by the narrow gate; for wide is the gate and broad is the way that leads to destruction, and there are many who go in by it. Because narrow is the gate and difficult is the way which leads to life, and there are few who find it.
「狭き門より入れ」

理事長先生を偲ぶ

副校長 森 雅子

ノートルダム清心学園理事長、シスター渡邊和子先生が去る十二月三十日帰天されました。

本校にお迎えする時には緊張感が溢れ、お見送りする時には温かな気持ちになるのが常でした。卒業式の祝辞でロバート・ケネディの「私に楽な道を望むよりも強い人になることを望ませてください。私にふさわしい仕事よりも、与えられた仕事をやり遂げるに必要な力をお与えください。」という祈りを卒業のほなむけとされ、置かれた場所で咲くということは、「微笑み」で他の人の助けとなる存在になることだと教えていただきました。保護者講演会では「子どもを導く知恵と、いつも穏やかな広い心をお与えください。子どもと一緒に成長させてください。」という「親の祈り」を教えてくださいました。

教職員へは、生徒を一人格として「自ら考え、判断し、その結果に対して責任をとる人間」に成長すべく導くよう、繰り返し、力強く指導されました。最後にいただいた「運命は冷たいが、摂理は温かい」という言葉を心にとめ、「清心」の教育に邁進することを誓い、清心中学校・清心女子高等学校生徒、教職員皆で感謝の祈りをささげたいと思います。



今年度のSSHを振り返って

SSH主任 田中 福人

SSH事業は第三期を迎え、今までの取組みをさらに充実させるべく、研究開発を行ってまいりました。第三期は「グローバル社会で活躍する女性研究者の育成」をテーマとして掲げ、「先端科学」「グローバル」「ESD」の三つを中心とした事業を進めています。先端科学を意識した取組みでは、広島大学臨海実験所での海洋実習を新たに設定し、瀬戸内海に棲む生物についてフィールドワークを通して体験的に学びました。また、今まで行ってきたボルネオ研修に加え、マレーシア・ツン・フセイン・オン大学との連携による、現地の自然環境を十分に活用した海外研修を新たに設定しました。説明等は全て英語で行われ、また、学んだことについてのプレゼンテーションを英語で行うなど、英語でのインプットとアウトプットがバランス良く盛り込まれた、質の高い研修でした。本校が目指している「ツールとしての英語力」を実践的に身につける良い機会になったと思います。さらに、沖縄自然環境研修旅行では、同大学生を招聘し、亜熱帯地域の自然環境について共に学ぶことが出来ました。これらの事業の様々な場面において、地球規模で課題解決に取り組むためのESDの視点が盛り込まれています。



女子生徒による科学研究発表交流会 (於:学習院大学)

課題研究においては、中心となる高校二年生に加え、中学生や高校一年生も積極的に取り組むようになりました。研究分野も、例年成果を上げてきた生物学・化学・物理学の研究だけでなく、数学や工学などの研究に携わる生徒も出てきてきました。さらに、今年度は「集まれ!理系女子 女子生徒による科学研究発表交流会」を学習院大学の御協力の下で実施し、全国から非常に多くの参加者を募ることが出来ました。以上のように、サイエンスを通して、人や地域や自然とつながるというSSHならではのグローバル教育を進めていくことが出来たと共に、様々な場面において、「拡がり」が感じられた一年であるように感じます。ご支援頂いた皆様方に深く感謝を申し上げます。

音楽会を終えて

中学校音楽会実行委員長 中3C 大岩 桃佳

毎年恒例の音楽会。今年も素敵な音楽会になりました。みなさんの思いのこもった歌声で会場全体がひとつになり、愛に包まれた心温まる会になりました。各クラスのパートリーダーや音楽会実行委員を中心として、皆で協力し合い練習の成果を発揮することが出来ました。そんな最高の音楽会を作り上げていったことは私たち一人一人の最高の思い出になったことでしょう。それも最後まで熱心に指導くださった、クラス先生方、音楽の先生方のお陰だと思っています。本当にありがとうございました。感謝いたします。

クリスマス会を終えて

クリスマス会実行委員長 高1B 鈴木 ありあ

清心ならではのクリスマス会。中1は装飾、中2はタブロー、中3はキャンドルサービス、そして分かち合いでは、聖歌隊と英語のネイティブの先生たちによるクイズ、歌など大いに盛り上がりました。みなさんの心が一つとなり、得られるものが多いクリスマス会となりました。

同時に日々お世話になっていらっしゃる方々や困っている方々への細やかな贈り物として、皆さんからの献品・献金や各学年で作製したプレゼントを送りました。保護者の方々や先生方、ご協力ありがとうございました。

進路指導部より 大学入試改革に向けて

進路指導部長 山内 宏之

これからの時代を担っていくためには、自分で考え、人と協働し、社会を作り上げていく力が、より求められていくでしょう。大学卒業生に求められるものの変化に対応した高大接続改革の中で、大学側もかなり改革を求められています。それが入試へと向いており、所謂「新テスト」導入以前の大学入試も影響はあると考えざるべきでしょう。

知識だけで対応するのではなく、基本的な考えを自分で活用することを求め、さらにそれを記述し表現するような問題が、すでに出現されています。これからは、このような考える力や表現力を求める大学が増えていくことが予想されます。かといって基本的な知識がないと対応できない点は従来と同じであると言えます。

大学入試改革に向けて、国語力・表現力の向上、英語四技能資格・検定試験対策などが課題となります。一方で、基本的な知識の定着を確実に積み上げていく取り組みも欠かせません。さらに、面接、デイベート、集団討論、プレゼンテーションの増加への対策として、大学進学目的を明確化することが求められます。本校においても、改革の流れを意識して進路指導の中に取り入れ、具体的な実践を積極的に展開していきたいと考えています。

学園の歩み(2)

校長 Sr. 三宅 聖子

一九二四年七月二日、最初の六人のシスターたちはアメリカ東海岸のマサチューセッツ州から汽車に乗り日本に向けて出発しました。オハイオのシスターたちを訪ねた後、十二日にサンフランシスコに到着、ベルモントのシスターたちから日本で必要になりそうなものを贈られ、二十二日にはプレジデント・ウイルソン号に乗船しました。航海の途中ホノルルでの事が航海日誌に「ハワイ王朝のプリンセスに歓迎された」とあります。このプリンセスたちは、ノートルダム・サンノゼの卒業生だったのです。八月九日には神戸に入港し、八月十四日に夏真っ盛りの岡山に到着しました。一カ月半近い長い旅でした。



幼きイエズス会の私人シスターたちと (移管の時)

生徒会活動報告

中学生徒会副会長 村川 羽叶



私たち中学までしこ生徒会は十月から活動を始めました。前生徒会の活動を引き継ぎ、挨拶運動で挨拶の普及に努めています。中央廊下にハロウインの装飾をしたり、十二月に向けて姉妹校へのクリスマスプレゼントづくりなどを行いました。また、新しいチャレンジである焼き芋大会を企画しました。学校周辺の清掃をして、その落ち葉で焼き芋を焼くというものです。多くの有志が参加してくれて、コミュニケーションを深める場にもなりました。みんなから楽しかったという感想も聞けて、生徒会活動にやりがいを感じました。



高校生徒会副会長 横山 凧

第70期生徒会の活動も残り僅かとなりました。先日、次期生徒会立ち会い演説会を行いました。緊張しながら演説を行った一年前が懐かしく思います。私たちは一学期に、熊本地震への募金活動、二学期からはバス降車場付近にて朝の挨拶運動を行いました。寒い中、皆さんが元気に挨拶をしてくださるので、これからも挨拶がしっかり定着していけばいいなと思います。そして、生徒会boxにもたくさんのご意見をいただき、より良い学校づくりにご協力ありがとうございました。

校外活動実績

SSH関連

- ・第4回宇宙エレベーターロボット競技会関西大会 中高生部門 優勝 高2E 則武 美佑
- ・第60回日本学生科学賞 岡山県審査岡山県教育庁賞 高2E 木山 宙香
- ・中央審査入選1等 高2E 浅野菜乃佳
- ・岡山県審査優秀賞 高2E 鳴川 紗
- ・第55回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会・中国四国支部学術大会 高校生オーブン学会 最優秀発表賞 高2D 木村 巴香
- ・2016年日本化学会中国四国支部大会化学教育研究発表会 優秀ポスター賞 高2D 守田 栗榛
- ・サイエンスキャッツ2016関西大会 高2C 岡本 真奈
- ・日本応用糖質科学会フレッシュシンポジウム 中3A 濱子 あこ
- ・平成28年度学校文化関係表彰 優秀発表賞 高2E 竹本 莉愛
- ・生命科学コース デンジソウ研究グループ

運動関連

- ・第72回国民体育大会冬季大会スケート競技 岡山県 第8位
- ・平成28年度全国高等学校総合体育大会フィギュアスケート女子 第9位 高1D 妹尾日菜子
- ・第3回岡山県中学生弓道選手権大会 第2位 中2C 渡邊 大月
- ・第3位 中3C 白崎 楓
- ・第5位 中2B 大野 心音
- ・第6回全国中学校ダンスドリル冬期大会 ビップホップ部門女子スモール編成 第1位
- ・平成28年度岡山県中学校秋季新体操大会

個人競技総合第3位

- ・種目別フープ第3位
- ・種目別ボール第2位 中2C 板谷 梨央
- ・第11回倉敷スポーツフェスティバル第32回弓道大会 中学高校女子の部 遠的第2位 高1B 山内実和子
- ・総合第2位 中3A 藤原 歩美
- ・第5回全国選抜中学校テニス大会県予選 団体3位
- ・第69回全日本バレーボール高等学校岡山県予選会 第3位
- ・平成28年度岡山県高等学校男女バレーボール選手権 第3位
- ・平成28年度岡山県高等学校男女新人バレーボール大会 優勝
- ・第40回岡山県高等学校総合文化祭演劇部門備中地区大会 優秀創作脚本賞 高2E 田原みのり
- ・平成28年度岡山県児童生徒書道展 特選 中学生 87名
- ・平成28年度岡山県読書感想文コンクール 高1D 中山ひかる
- ・中2C 杉田 美咲
- ・中1C 能登みずき
- ・平成28年度岡山県統計クラブコンクール 優秀賞 中1A 本安 未侑
- ・第7回いっしょに読もう新聞コンクール 奨励賞 高3C 山本 珠緒
- ・高1E 前田 萌絵
- ・こくさいこどもフォーラム岡山(INFERKIDS) 主催「2016高校生懸賞論文」 優秀賞 高2B 兼田 紗綺
- ・奨励賞 高2E 霜山菜都乃
- ・高円宮杯第68回全日本中学校英語弁論大会岡山県大会 弁論の部 第2位 中2B 加藤 結万
- ・暗唱の部 銀賞 中2B 難波歩由未
- ・第10回岡山県高等学校英語スピーチコン

テスト入選

- ・高1E 加藤りく穂
- ・第21回岡山県高等学校英語エッセイコンテスト入選 高1C 岡本 優莉
- ・第11回岡山県高等学校英語レターコンテスト入選 高1E 前田 萌絵
- ・高1E 佐藤 衣吹
- ・第5回英教学館杯中学校英語スピーチコンテスト 中2B 山本 葉菜
- ・中国学園大学主催第3回高校生プレゼンテーションコンテスト 優秀賞(英語) 高1E 佐藤 衣吹
- ・優秀賞(日本語) 高2B 兼田 紗綺
- ・第9回岡山城東高校杯中中学生英語スピーチコンテスト 中3C 中原明日美
- ・第1位 中3A 佐々木真里
- ・第4位 中2B 矢木 清葉
- ・第5位 中3A 佐々木真里

平成二十八年年度 後援会後期委員会報告

平成29年1月10日本校において、委員46名の方々の出席を得て、後期委員会が開催されました。協議・報告事項では町田会長が議長となり、次のことが決定されました。

- ①バザー収益金について 収益金の使途については、「校舎改修整備等助成資金」として学校の積立金の一部に充当するとともに、各種福祉施設・団体への「クリスマス献金」の一部として援助することが決まりました。バザー収益金 1,050千円
- ②卒業寄付について バザー収益金の使途と同様に「校舎改修整備等助成資金」として援助することが決まりました。卒業寄付金 1,410千円